

バスジャック対策訓練を実施

静岡県バス協会



当協会では、23年9月20日に静岡県警察本部と合同でバスジャック事件に対する訓練を実施しました。参加者は協会から会長(酒井公夫)をはじめ62人、警察から約80人が参加しました。



午前中は座学において、今までのバスジャック事件等の概要、事件発生時における関係者の対応、訓練当日の説明。また23年3月2日発生した遠州鉄道のバスジャック事件について、バス事業者として事件への対応と従業員教育等について講義を受けました。



午後は実地訓練において通行人を殺傷した男にバスを乗っ取られ逃走された。静岡市内をバスが走行し、市内の西ヶ谷運動場で犯人を説得したが応じないため警察官がバス車内に突入し犯人を制圧した。訓練において、乗客の安全確保を最優先する。運行の安全確保に最善をつくす。関係者は落ち着いて行動する。以上の事などが理解出来ました。

バス協会会員は、社内教育等を通して常に安全運行の確保を図るよう取り組みを行っております。

バス協会ではこれからも、輸送の安全・安心を第一に取り組んでまいりますので皆様方のバス利用をお待ちしております。